

外国語科学習指導案

単元名 My school trip
 ～修学旅行の思い出ブックを作ろう～（6／8）

日時 平成29年10月18日（水）3校時
 指導者 T1 常松 嗣典
 T2 永瀬 真弓

（1）本単元の構想

「Can-Do リスト」の形式による学習到達目標における位置付け
 伝えようとする内容を整理した上で、既習の英語表現を使って、身の回りのことや自分のことについて英文で発表することができる。

- 過去の表現が分かり、行った場所や食べた物、楽しんだことなどについて言ったり聞いたりすることができる。 【知識・技能】
- 行った場所や食べた物、楽しんだことなどについて、自分の考えや気持ちを発表することができる。また、紹介に必要な語句や表現の意味が分かり、例を参考に自分の話した内容について、語順を意識しながら書く。 【思考・判断・表現】
- 他者に配慮しながら過去の表現を使って発表しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】

（2）学習の基盤

【単元観】

本単元は、自分が経験したことなどについて、過去の表現を使って伝え合うことをねらいとしている。単元の前半では、絵本「はらぺこあおむし」を通して過去の表現を知り、児童が3・4年生時に作成したMy Book「はらぺこ〇〇」のセリフを考えて読み語りをする。後半では、「修学旅行思い出ブック」を作成し、修学旅行で行った場所や食べたもの、楽しんだことなどを過去の表現を使ってALTに紹介する。グループごとに紹介することを決め、紹介のためのブックシートを作成する。ALTの母国には修学旅行がないので、自分たちの経験を伝えたいという意欲が高まり、積極的なコミュニケーション活動が期待されるであろう。さらに、前任のALTやその家族に伝えるためにビデオレターを作成する。これらの活動を通し、ねらいとする表現や様子を表す言葉などの語彙を習得できると考える。

【児童観】

… <個人情報保護のため省略> …

【指導観】指導に当たり、児童が目的意識をしっかりと持って学習に取り組めるよう、単元前半はMy Book「はらぺこ〇〇」の読み聞かせをすること、後半では9月に田井小と吉田小合同で修学旅行に行ったことをALTに伝えることをゴールとする。第1時では、絵本の読み聞かせを通して過去の表現に出合わせ、既習の表現との違いに気付かせたい。第2時では、3・4年生の時に作成した「はらぺこ〇〇」を過去の表現を使ってセリフを考える。第3時では、考えたセリフを基に読み聞かせの練習をする。この活動をすることは、過去形を使って紹介するゴールのイメージ作りになる。適切な英語表現、声の大きさや速さ、ジェスチャーやアイコンタクトなどを意識できるようにしたい。第4時から修学旅行思い出ブックの作成に向けての活動を進めていく。グループごとに紹介したい内容を決め、それぞれの思い出を紹介するブックシート作成する。第5時では修学旅行の思い出紹介の内容を過去の表現を使って考え、紹介シートを作成する。第6時（本時）では、作成したシートを使って修学旅行の思い出紹介の発表の練習をする。練習を行う中で、中間評価（シェアリング）を行い、相手にしっかりと伝わるためにはどうしたらいいか考えさせ、正しく分かりやすい発表ができるようにしたい。また、発表を聞くときには、伝わっていることが発表者に分かるように、相づちなどのリアクションをとるように指導していきたい。第7時では自分たちの紹介をビデオ撮影する。撮影する前にはタブレットで撮影し、客観的に自己評価し、相手を意識して撮影ができるようにしたい。第8時では各自が作った紹介シートをまとめ、「修学旅行思い出ブック」を完成させる。その際、音声で十分に慣れ親しんだ表現を四線上に書き写す活動を行う。単元を通し、過去の表現を用いる際には様々な場面があることに気づかせるともに今後の外国語学習での英語のやりとりに主体的に取り組もうとする態度につなげていきたい。

(3) 単元の内容

表現	I/It was ～. I went to /ate/saw/enjoyed～.
主な語彙	動詞過去形 (went, enjoyed, ate, saw, was)、様子を表す言葉 (beautiful, great, cool, exciting, interesting, fun, loud, delicious, hot, sweet など) 建物 (shrine, Peace Memorial Museum, factory, amusement park, aquarium)

(4) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○過去の表現が分かり、行った場所や食べた物、楽しんだことなどについて言ったり聞いたりすることができる。	①行った場所や食べた物、楽しんだことなどについて、自分の考えや気持ちを発表することができる。 ②紹介に必要な語句や表現の意味が分かり、例を参考に自分の話した内容について、語順を意識しながら書き写している。	○他者に配慮しながら過去の表現を使って発表しようとしている。

(5) 指導と評価の展開計画 (全8時間 本時6/8)

ア：知識・技能

イ：思考・判断・表現

ウ：主体的に学習に取り組む態度

時	○ねらい ・主な学習活動	評価			
		ア	イ	ウ	主な評価規準 (評価方法)
					形成的評価 (◇) 総括的評価 (◆)
1	○絵本「はらぺこあおむし」のセリフから過去の表現を知る。 ・ウォームアップ ・「はらぺこあおむし」の読み語り ・教師の絵本の紹介 (Demo) ・絵本で使われている表現を知る	○			◇ (ア) 過去の表現の意味を理解している。 (行動観察・ふり返しカード)
2	○My book「はらぺこ○○」のセリフを過去の表現を使って考える。 ・ウォームアップ ・教師の絵本の紹介 (Demo) ・絵本のセリフを考える		○		◇ (イ①) 過去の表現を使って、絵本のセリフを考えている。 (行動観察・ふり返しカード)
3	○相手に伝わるように、過去の表現を使って、My book「はらぺこ○○」の紹介をする。 ・ウォームアップ ・教師の絵本の紹介 (Demo) ・読み語りの練習をする		◎	○	◇ (イ①) 相手に伝わるように、過去の表現を使って、絵本の紹介をしている。 (行動観察・ふり返しカード)
4	○修学旅行の思い出紹介をするための過去の表現を知る。 ・ウォームアップ ・教師の修学旅行紹介 (Demo) ・ミッシングゲーム、ポインティングゲームなど ・現在/過去カルタ	○			◇ (ア) 過去の表現の意味を理解している。 (行動観察・ふり返しカード)
5	○修学旅行の思い出紹介するための内容を過去の表現を使って考える。 ・ウォームアップ ・教師の修学旅行紹介 (Demo) ・マッチングゲーム ・修学旅行の思い出紹介の内容を考える		○		◇ (イ①) 過去の表現を使って、修学旅行の思い出を紹介するための内容を考えている。 (行動観察・ふり返しカード)

⑥ 本 時	○相手に伝わるように過去の表現を使って修学旅行の思い出を紹介する。 ・ウォームアップ ・教師の修学旅行紹介 (Demo) ・修学旅行の思い出紹介をする	◎	○	◇ (イ①) 相手に伝わるように、修学旅行の思い出を過去の表現を用いて発表している。 (行動観察・発表・ふり返しカード)
7	○相手に伝わるように、過去の表現を使って修学旅行の思い出を紹介するビデオを撮影する。 ・ウォームアップ ・紹介の練習をする ・ビデオ撮影をする	◎	◎	◆ (ア) 修学旅行の思い出を言ったり聞いたりしている。 ◆ (イ①) 相手に伝わるように正しく修学旅行の思い出を発表している。 ◆ (ウ) 相手を意識しながら修学旅行の思い出を発表しようとしている。 (行動観察・ビデオ記録・ふり返しシート)
8	○修学旅行の思い出について、話したことを、語順を意識しながら書く。 ・思い出 book に仕上げる	○		◇ (イ②) 修学旅行の思い出について話したことを、語順を意識しながら書き写している。 (行動観察・思い出ブック)

(6) 本時の展開

①ねらい

相手に伝わるように、修学旅行の思い出を過去形を使って紹介する。【思考・判断・表現】

②展開

時間	児童の学習活動	教師の活動と支援		指導上の留意点 ◎評価規準 (評価方法)
		T1	T2	
10	Warm-up ○あいさつ ○チャンツ ○LFT(Lucky Free Talking) Hello. My name is～ How are you? I'm～? (既習の英語表現を使ってお客様と会話する。)	<ul style="list-style-type: none"> あいさつをする。 Let's start English class! Hello, everyone. 一緒に歌う。 ラッキーフリートーキングをする。 既習の表現に慣れ親しませる。 		<ul style="list-style-type: none"> あいさつや歌を通して楽しく学習する雰囲気を作る。
3	Demonstration ○T2が修学旅行の思い出を紹介する。 ○めあての確認 ・ふり返しシートに記入する	<ul style="list-style-type: none"> 児童と一緒にスピーチを聞きながらリアクションするなどして聴き方のモデルになるようにする。 支援学級の児童を中心にT2のスピーチが聞き取れているか児童の様子を確かめる。 めあてを板書する。 	修学旅行の紹介をする。 <ul style="list-style-type: none"> 児童の様子を確認し、スムーズに活動に入れるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> Demonstrationを示すことで、児童が目指す姿をイメージできるようにする。
		相手に伝わるように修学旅行の思い出を紹介しよう。		

25	<p>Activity</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思い出紹介の練習をする。 ○発表グループごとに作成した思い出シートをもとに発表の練習をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【思い出発表の例】 My school trip. I went to ____. I ate ____. It was ____.</p> <p>I went to ____. I saw ____. It was ____.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○モデルとなる児童のスピーチを聞く。 ○グループに分かれ、もう一度発表の練習を行う。 ・修学旅行思い出紹介をする。 ○発表グループに分かれ、先生方に修学旅行の思い出発表を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・T2のスピーチを聞いて、相手に伝わるようにするために大切なことを考えさせ、意識させる。 ・T2と連携しながら児童の理解の状況に合わせて一緒に言ったり声かけを行ったりする。 ・発表グループはそれぞれ5・6年のペアになるようにして、6年生が発表のモデルとなるようにする。 ・グループを見て回りながら発表を聞いている児童に対して相づちや繰り返しなどのリアクションができるように状況に合わせて一緒に行ったり声かけを行ったりする。 ・eye contact や clear voice、gesture ができている児童を紹介し、上手くできているところを全体で共有させる。 ・できている児童に対しては、声の強弱や間の取り方など工夫してみるように声かけを行う。 ・T2と連携してグループを見て回りながら、上手くできているところを評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援学級の児童を中心に支援を行う。T1と連携しながらスムーズに活動が行えるように個別支援を行う。 ・どのように言っているかわからない場合は一緒に言うなどの支援をする。 ・児童と一緒に発表を聞きながら、児童が聞き取れているか確認し、必要に応じて支援を行う。 ・児童の様子をみながらスムーズに活動が行えるように英語表現について指導したり、一緒に言ったりするなどの支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチを行うときに大切なことを確認し、意識させる。 <eye contact> <clear voice> <gesture> ・友だちの発表を聞く際には、伝わっていることが発表者に伝わるように、相づちなどのリアクションをとるように意識させる。 ◎相手を意識しながら修学旅行について過去形を使って紹介している。 《行動観察・発表》
7	<p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ○振り返りシートを記入し、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導をしながら、それぞれの気付きを認める。 ・学習のまとめと振り返りを行い、次時の学習の見通しを持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・困っている児童と一緒に振り返りを行い、児童の頑張りをお認める。 ・本時の学習の様子を振り返り、児童の頑張りをお認める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の気付きや思いを認め、今後の学習への意欲付けをする。

(7) 本時の評価

十分に満足と判断される児童の具体例	おおむね満足と判断される児童の具体例	支援を必要とする児童への指導の手立て
相手を意識しながら修学旅行について、過去形を使って工夫しながら紹介している。	相手を意識しながら修学旅行について過去形を使って紹介している。	紹介ができない場合は、言い方を確認したり、一緒に言ったりして自分で紹介できるようにする。

(8) 授業研究の視点

過去形を使って修学旅行の思い出を紹介する活動において、異学年でのグループ活動を取り入れたことは、本時のねらいを達成するために有効だったか。